

見えないことの可視化をテーマに制作された写真などが並ぶ会場＝熊本市中央区



◇invisible 30日、熊本市中央区の崇城大ギャラリーで始まった。11月4日まで。崇城大芸術学部の甲野ゼミの作品展。大学3、4年生、大学院生ら11人が、写真や映像などの約40点を並べる。「目にみえないものを視覚化する」が制作のテーマ。女性のモノクロ写真を大きく引き伸ばした作品は、普段は見えづらい唇の形などを見て分かるように表現している。海のイメージが強い水俣の茶畑や棚田の風景写真も。ダンサーが躍る映像を三つの視点で見せる映像作品は、一つの視点だけでは分からないダンスの動きを見る人に伝える。